

NEXT INFO ①

20 周年に向けてキックオフ

公募展ポートレートサミット共催

才能を発掘し、世界へと発信へ！

日本の写真文化を牽引

プロ・アマチュアの垣根を超え、あらゆるジャンルのポートレート写真が一堂に会する、これまでにない公募写真展「ポートレートサミット」が8月22～24日の3日間、東京・渋谷区の表参道穂田ギャラリーにて開催。37度を超える猛暑のなか、初日は173名、2日目は288名、最終日は258名と多くの方が来場されました。

主催は、写真家としてWPC（ワールドフォトグラフィックカップ）をはじめとする権威ある賞を受賞するとともに、毎年6月に開催しております本誌発行元の株式会社プロメディア主催のフォトグラファーズ&フォトビジネスフェア・PHOTONEXTでは公式アンバサダー撮影企画を担当する小林鉄斎氏。今回は、ポートレートサミット実行委員会実行委員長を務めました。

ポートレートサミットの開催にあたり、鉄斎氏は以下のように語りました。

「写真の歴史をひも解くと、その始まりは肖像、つまりポートレートでした。今から200年近く前、初めてカメラが発明されたとき、写真はごく一部の特権階級の人々が、その姿を永遠に残すための手段でした。しかし技術の進歩とともに、カメラは誰もが手にできる身近な存在となり、写真を撮るという行為は、特別な日から日常へと溶け込んでいきました。



8月22～24日、東京・表参道で開催されたポートレートサミット



そして現代、私たちはインターネットとスマートフォンの普及によって、かつてないほどの自由を手に入れました。誰もが『撮る人』であると同時に『見せる人』『受け取る人』となり、写真を撮ってSNSで共有するこの行為は、今

まさに新しい写真文化を築き上げています。

単に写真を撮るという行動は、もはや個人的な記録にとどまりません。何気なく投稿した1枚の写真が、遠い場所にいる誰かの心を動かし、新たな創作のきっかけ

けとなることがあります。私たちは気づかないうちに、次の時代へとつながる新しい文化を創造しているのです。

今から100年後の未来に生きる人々が私たちの時代を振り返ったときに、きっとこの瞬間に花開いた写真文化に驚き、感動するでしょう。その文化を作り上げているのは、私たち1人ひとりなのです。

江戸時代に浮世絵や俳諧といった日本独自の文化が花開いたように、今、日本の各地で、その土地の風土や自然、歴史を生かして、1人ひとりが独自の感性で創作に励んでいます。雄大な景色を背景にしたポートレート、美しい清流や季節に咲き誇る花々にとけこむポートレート、タイムスリップしたかのように歴史ある街並みの中にたたずむ1枚など、それぞれの土地の魅力、日本の美しい四季が写真を通して表現されています。

日本はこれまで、海外からカメラの技術を学び、独自の技術力で世界のカメラ産業をリードしてきました。それと同じように、今、SNSから広がる新しい写真文化においても、私たちが新たな道を切り拓いていく時代です。

このポートレートサミットが、写真を通して夢や希望を見つけるきっかけとなったり、他者の作品から新たなインスピレーションや気づきを得たりする場となることを願っています」



次回の PHOTONEXT にて 作品展示ほかスペシャルな 企画を予定

ポートレートサミットは、ほかにない公募写真展として、インフルエンサーやトップフォトグラファーの主催者招待 10 枠と一般公募 30 枠で行なわれました。単なる作品展示に留まらず、写真を通じた交流と学びの場、そして何よりも心躍る「楽しさ」を提供することで日本のポートレート文化を深化させ、世界へとその魅力を発信することを目指しました。

会期中は写真界の巨匠・山岸

伸氏をゲストに招いて「写真の心」をテーマとしたギャラリートークや交流レセプション、絵師・岡田嘉則氏による「からだ絵ライブイベント」など、さまざまな企画が設けられました。

当初の応募者数の予想をはるかに超える 103 名から、155 点もの作品応募がありました。鉄斎氏によると、今回の公募展は順位や優劣を決めるものではなく、応募作品の選定にあたっては「テーマ」「視点」「アプローチ」「創造性」「被写体」など、ポートレートの多様性を重視して、できるだけ種類やテーマ性が異なる

作品を幅広く選ぶことに重点を置いたようです。

「たとえば、我が子の写真にプリントがずれていたり、暗かったりすることがあっても、そこには忘れられない瞬間の表情と、家族のかけがえのない思い出があり、宝物として残り続けます。写真の価値は技術的な観点だけで評価されるのではなく、自身の想いを表現することこそが最も大切だと考えています。良い写真に絶対的な答えはないのです」

前述のとおり多数の応募があったため、すべての作品を展示できませんでした。ただ「選出されな

かった皆様の作品にも、かけがえのない想いが込められており、運営一同、1 つひとつ大切に拝見いたしました。今回の結果に関わらず、皆様の作品が持つ力と情熱に、私たちは多くの学びと感動をいただきました」（鉄斎氏）ということから、当初 30 名で予定していた公募枠を急遽拡大し、運営サイドの展示スペースを応募者に割り当てました。

「PHOTONEXT2026」の会場ではテーマ別に、印象に残る作品展示を行なう予定です。引き続き、ご注目ください。

ありがとう。

PHOTONEXT は 2025 年に 15 周年を迎えました。
皆様のご支援、ご協力に、心より感謝申し上げます。

これからも、皆様とともに、笑顔のフォトネクストでありますように…

SMILE ～笑顔と感謝～

主催：株式会社プロメディア

主催団体：日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会



2026 年 6 月 16 日[火]-17 日[水] パシフィコ横浜 B ホール

15周年ありがとうございました

■「Wa～和to輪～」をテーマに開催した「PHOTONEXT2025」。おかげさまで約1万人にお越しいただき、15周年も盛況となりました。厚く御礼申し上げます。

■公式アンバサダーは和にちなで、NPO法人和と人の交流ちとせ代表の鎬木志織さんに務めていただきました。鎬木さんは、日本文化の普及と可能性を追求されています。

■私たちは誇り高き精神を胸に、自らの意志と力によって未来を切り拓き、変革の一步を踏み出す必要があります。日本刀のように鋭い輝きを持ち、私たちの内なる力を信じて行動することこそが、洗練された日本人精神の道につながるでしょう。

そして2026年に向けて 写真を通じて「平和な世界」へ

■ 私たち人間ができること、それは「笑うこと」と「感謝をすること」です。笑顔は人を幸せにします。感謝の気持ちが相手に伝わると、みんなが嬉しくなります。それは国境を越えます。

■ そして世界に争いがなくなり、笑顔と感謝で満たされ、平和な世界になるように。「写真」を通じて、私たちができることをともに考え、学んでいきましょう。

■ 2025のテーマ「和（輪）」を持って、「PHOTONEXT2026」の開催をとおして平和な世界につながるように、一緒に歩んでいきましょう！

**開催概要は
今秋発表 !!**



先行予告

セミナー連動型企画ゾーン

新たな需要開拓は、セミナーと展示のセットで大々的に提案「これが観たかった」「知りたかった」に応える主催者コーナー



① AI × フォトビジネスで 「日本人口倍増計画」 決行 !!

いま婚活写真が熱い！ 素敵な出会いを求める男女がこだわるハイクオリティ写真を提供するために、プロとして使いこなしたいAIテクノロジー。昨今の婚活プロフィール写真のニーズと、フォトグラファーのAIレタッチ活用の実態、求めるレベルなど、アンケート調査に基づき、それらを踏まえた体験コーナーを新設。便利な機能を、より効果的に使用することで、婚姻数の増加、少子化に歯止めをかける一大プロジェクト、いざ決行へ！



② フォトフューネラル 2026 撮影体験 & 参加型ステージ

終活にあたり、写真整理ができていないシニア層が多数存在するなか、写真のプロとして、そのサポートが急務。ハイクオリティに残すことの大切さを、いかにエンドユーザーへ伝えていくか。前回に引き続き、主催者企画として設けるフォトフューネラルゾーンでは、関連商品の展示にとどまらず、セミナープログラムを通じて具体策、ソリューション提案を実行。撮影デモンストレーションを含む来場者参加型ステージに、ぜひご注目！

NEXT INFO

次号予告

PHOTONEXT2026 開催概要

次回の見どころを紹介!!

- ①企画コンセプト
- ②出展のご案内
- ③新プログラム、ほか

開催概要説明会の日程は
近々アナウンスいたします!

主要スケジュール ※変更になる可能性があります

- ◎第1次申し込み締め切り: **1月30日(金)**
- ◎最終申し込み締め切り: **2月27日(金)**
- ◎出展社説明会 / 小間割抽選会: **3月27日(金)**
- ◎搬入日: **6月15日(月)**
- ◎会期: **6月16日(火) ~ 17日(水)**



《PHOTONEXT 情報満載の月刊誌》

撮影ビジネスの現場からいまを伝える情報誌「スタジオNOW」。2025年7～9月号では2025年の「PHOTONEXT」の模様をレポート。引き続き、最新トレンドも含めて発信いたします!

PHOTO NEXT 2026

フォトグラファーズ & フォトビジネスフェア

2026年6月16日(火) ~ 17日(水)

パシフィコ横浜 Bホール

www.photonext.jp

主催: 株式会社プロメディア
主催団体: 日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会
特別協賛: 日本営業写真機材協会

公式サイト随時更新いたします!!

・会場マップ、出展社ブース、セミナープログラムなど、最新情報は公式サイト(<https://www.photonext.jp>)へ。会期に向けて更新いたします

・2025開催概要、出展に関わる重要事項説明書、出展申込書、前回レポートは、今秋よりトップページからダウンロードできるように準備いたします。通信誌「NEXT INFO」のバックナンバーもご覧いただけます。



NEXT INFO ①

- 本冊子は PHOTONEXT 関連トピックをまとめた通信誌です。
- 「PHOTONEXT」の地方での開催は?と質問されることがあります。以前には他イベントとの合同で、京都にて開催したことがありました。当面、地方で

の展示会開催は予定していませんが、正式に準備が整い次第、ご案内いたします。
● PHOTONEXT に関するお問い合わせは主催事務局まで (TEL: 03-6302-0801、FAX: 03-6302-0802、メール: info@photonext.jp)。